

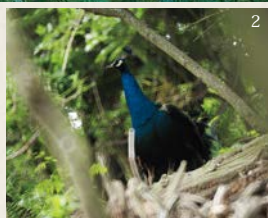
Wink Journal

我が街が面白くなるネタ満載! ウイंक編集部が街で見つけた気になるコト・モノ・ヒトを紹介します。

福山の
ラストリゾート!?



※宇治島・瀬の浦から8キロ離れた沖合にある無人島で、孔雀と鹿が生息する自然美溢れる島。瀬戸内海を漂流するゴミが集まりやすい場所にあるため、砂浜には流木から家電などの粗大ゴミまで打ち上げられている。



1. アーティスト「淀川テクニク」は、テントで野宿してゴミを収集。その中にあった鹿の頭蓋骨が、現在プラスチックゴミを纏ったアートに! 11月の展覧会でボディ一付きの完成形をお披露目。2. 大きな孔雀が生息。3. 7月の清掃活動の様子。4. 晴れた日の海の色はなんととも言えない美しさ!

Photo courtesy: the artists and YUKARI ART

Event 1

学べる若手交流会 (アート編)

「好きな人しか楽しめないじゃないアートの魅力」がテーマ。様々な若手アーティストをマネージメントし、国内外でプロモーションしている「ユカリアート」のアートディレクター・みつまゆかりさんをゲストに、福山の無人島のゴミアートイベントや、世界中の芸術についてトーク予定。

日8/30(金) 19:30 開場 20:00~ スタート
会場 Free Space VALSON (福山市元町13-3 95 BLDG1F)
料 3,000円 (軽食・1ドリンク付き) ※事前予約制50名迄

Guest



ユカリアート みつまゆかり氏

Event 2

宇治島クリーン作戦&アートパーツ収集

島の清掃をしながら、アートに使う島のゴミを収集。午後からは自由時間あり。ゴミアートについての討論会なども開催予定。ぜひカメラの持参を。

日9/14(土) 8:00受付9:00福山港フェリー岸壁・広場発。帰りは17:00福山港着
小学生以下500円、大人(中学生以上)1,000円 定員90名
※定員になり次第終了
申し込み方法/氏名・住所・電話番号明記のうえ、FAXかメールで申し込み
FAX084-944-3003 〆 duelinmesh@gmail.com

Event 3

企画展「無人島のゴミをARTが喰らう!」

宇治島のゴミを使って「淀川テクニク」がアートを作成。また、清掃活動を通じて出会った無人島の自然の魅力も、参加者の写真やスライドなどで発信。

日11/9(土)~17(日) 9:00~17:00
会場 福山の津ミュージアム(福山市鞆町鞆271-1) 〆 入場料無料

予約など全ての問い合わせ先... 〆 080-1928-1474 (高橋氏)

Event

無人島清掃活動から生まれる面白イベントに注目です

取材・文/高野 由絵(本誌) 写真/麻生 祥代(村上アーカイブス)、高橋 隆二

7 月号で紹介した、毎年海の日に行われている、福山の無人島・宇治島の清掃活動。今年も家族連れからカップルまで200人も参加者があり(ウイंक読者も多数!)、午前中は海浜掃除、午後からは海で魚と泳いだり、山で孔雀を見たりと有意義な1日を過ごした。そんな島のクリーン作戦を中心に、面白くて地元の良いさを再確認できる、様々な企画やイベントが立ち上がり中! まずは9月、再び島の清掃活動の開催が決定。しかも今注目の若手アーティストが来福し、回収したゴミの一部を使ってアートを制作し、11月上旬「瀬の津ミュージアム」で展示することが決まったのだ。「ゴミがアートになるの?」と思う人もいるかもしれないが、なるんです! 島に落ちていた鹿の骨が、浜で拾った細かなプラスチック破片の毛を付けて生まれ変わったいたり、ナイロンや網が魚の鱗になっていたり...

...。じっくりパーツを見ていると、こんなゴミまで落ちているのか! と考えるきっかけにもなる作品に展覧会では出合えるはずだ。また、清掃活動の参加者が撮影した島の写真も一緒に飾る予定。併せて海の漂流物や、ゴミ調査で宇治島に訪れた鳥取環境大学の研究内容も展示するので、学術的なアプローチから島や環境問題について学べるほか、参加者、アーティスト、カメラマンそれぞれの作品に触れることで、島の良さ、新たな瀬戸内の魅力が再発見できる企画展となりそう(14日の清掃に参加し、写真を撮れば作品が飾られるかも!)。関連のトークイベントも8月末から随時開催。これらは全て、島のクリーン作戦に共感する人が集まり、自然と和が広がって生まれている企画。あなたもぜひこの輪の中に入って、目で見て、触れて、五感をフルに使って地元が誇る島の良さを実感して欲しい。

① 淀川テクニクってこんな人

柴田英昭と松永和也により結成されたアートユニット。大阪・淀川の河川敷を主な活動場所として、ゴミや漂流物などを使い作品を制作。赴いた土地ならではのゴミや人々との交流を楽しみながら行う滞在制作が得意。



「宇野のチヌ」/ "Chinu, Uno", 2010, garbage based sculpture